

# 第1学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 公平とは何か 内容項目：Cー（1 1）公正、公平、社会正義
- 2 ねらい 話し合いを通して公平とは何かを考え、大切さを理解し、差別や偏見のない社会を築こうとする態度を養う
- 3 資料名 「公平と不公平」
- 4 指導の展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 公平と不公平に関する身近な例について考える。 主題○公平や不公平を判断するとき、何が大切だろうか。	○公平と不公平の違いを考えるきっかけとして身近な出来事に関するイラストを見て、公平や不公平を感じることを押さえ、道徳的価値への方向付けをする。
展開	2 教材「公平と不公平」を読み、グループで話し合う。 <b>発問①</b> 年齢の差でお年玉の額が違うことをどう思うか。 ・年上だとお金の使い道もいろいろあるので、お年玉の金額が違うのは不公平ではない。 ・妹だと不公平感を感じる。 <b>発問②</b> 障害があることで優先して会場に入ることについて、どう思うか。 ・同じお金を払っているので不公平だ。 ・安全上の配慮もあるので、必要なことだ。 ・体への負担を考えれば、配慮として必要だ。 <b>発問③</b> 字が上手だという理由で、班長がCさん一人にまとめをお願いすることは公平か。 ・本人を含めて話し合いの結果ならばよいと思う。 ・本人が納得しないならば不公平だと思う。 ・ほかの人は別の仕事を請け負うことで、公平にする。  クラス全体にてグループで出た意見をホワイトボードに書き、共有する。  <b>中心発問</b> <b>考えてみよう</b> 3つの場面から、「公平」「不公平」を判断するとき大切にしなければならないことを考えよう。 ・それぞれの立場をよく考えて、公平か不公平かを考えなくてはならない。	○発問①～③は、各グループに1つずつ割り振る。 ○Aさんとお姉さんの気持ちや考えを問いかけながら、公平か不公平かについての多様な感じ方、考え方を引き出す。 ○Bさんと車椅子の人、係員などの気持ちや考えを引き出しながら、仲間と共に語り合う学習を大切にする。  ○Cさんや班長、ほかの班員の気持ちや考えを引き出しながら、身近な事例について具体的な意見を引き出す。  ○3つの事例の話し合いからさらに話し合いを深め、誰に対しても公平にするためには、相手の立場や状況をよく理解していくことが大切であることを捉えさせる。
まとめ	3 振り返りながら、自分の考えをまとめる。 <b>発問</b> <b>自分に+1</b> これまでに公平や不公平と感じたことについて振り返ってみよう。  ワークシートに自分への振り返りを記入する。  「心みつめて」より、p.22～23の韓詩外伝の言葉を紹介する	○これまでの生き方から、公平や不公平に感じたことを振り返り、そのことを今日の学習をもとに、もう一度見つめ直させる。  ○自分自身が公平・不公平についての道徳的価値について考えを深めることができたかを振り返る。

- 5 評価
  - ◆相手の立場になって考えさせるなど、多面的・多角的に考えさせることができたか。
  - ◆学級での話し合いから新しい発見や気づきがあったか。
  - ◆公平・不公平について自分の考えを深めることができたか。